

平成23年度九州大学大学院法学府  
修士課程入学試験問題（春季）

## 憲法

（注 意） 解答用紙は第一問、第二問それぞれ別のものを用いること。各解答用紙の解答欄冒頭に、いずれの問題に対する解答であるのかがわかるよう「第一問」「第二問」と記載すること。

### 第一問

(50 点満点)

以下の見解は、憲法上どのように評価されるべきか。日本国憲法における「政党」の位置づけ、現代民主政治における「政党」の機能に留意しながら、詳述しなさい。

「私は、現在の選挙制度ほどに政党の力が強まり、その特権がおおっぴらに認められている状態では、少なくとも選挙との関係に関する限り、政党への法的規律をより強めるべきだと考えている。」

「たとえば政党の候補者選出に党员集会の議決を必要とするといった、一定の法的規律をかけるべき時点に至っているのではなかろうか。」

### 第二問

(50 点満点)

日本国憲法第31条について論じなさい。